

REPORT-1

高校生の研究室訪問

「科学って本当に楽しい」じっくりと科学にふれて気分は研究者！

昨年度に引き続き今年度も夏休みに合わせて、高校生に大学で研究を体験してもらう事業が行われました。7月31日と8月1日の2日間、県立北高校の生徒22名が発生研、生命資源研究・支援センターの11研究室を訪問しました。2名ずつ各研究室に分かれて、それぞれ異なるテーマに取り組みました。細胞の培養操作、細胞あるいは初期胚への蛍光遺伝子の導入、その遺伝子の発現の蛍光観察、あるいは蛍光を利用して細胞を選別するセルソーター、ネズミの解剖、走査電子顕微鏡を使った観察、など様々なテーマを体験しました。参加した高校生からは、「学校で習わない内容を学習でき、基本からわかりやすく説いてもらえたことがでてよかった」、「研究とはどういうものかを体験でき、生命的不思議に興味を持つことができて楽しかった」といった感想が聞かれました。

また、8月27日の午後には、鹿児島県池田高校の3年生の生

徒40名が、一昨年に続き再度発生研を訪問しました。こちらは初期発生分野の永渕昭良教授の講義を聴いたあと、6人ずつに分かれて5研究室を見学しました。短い時間でしたが、とても密度の濃い実験の体験ができたようです。

今後もこのような高校生の体験事業を行うことによって、科学の楽しさや研究の意義を伝え、将来を担う優秀な人材の理系への確保につなげたいと考えています。



REPORT-2

GCOE-発生研共催サマーリトリート2008

国際的最先端の研究を明日の世界につなげ

今年のGCOE-発生研共催サマーリトリートは8月28~29日にホテルグリーンピア南阿蘇で行われました。Karen Muller Smith(Yale大学、米国)、山本嘉幸(University College London、以下UCL、英国)、柳田素子(京都大学)、熊ノ郷淳(大阪大学)、Benjamin John Steventon(UCL、英国)、Duncan Greig(UCL、英国)の招待講演者6名(発表順)、熊本大学の若手研究者6名、ポスター演題数81という大きなミーティングとなりました。

1日目は、まず招待講演者4名の方にお話いただきました。特に、山本嘉幸博士によるblind cavefish(進化的に眼を退化させた洞窟に住む魚)の眼形成過程の遺伝子制御解析の講演では、「暗闇で生活するこの生物が、近くを通りかかった獲物を吸い込むようにして捕らえるのに必要な大きな口を獲得するのと引換に眼を退化させた」という新しい見解が提唱され、大変興味深く拝聴しました。夕食はさんでのポスターセッションではポスドクや学生たちが自分たちの研究発表を行い、招待講演者や他の研

究室の先生方と熱い議論を交わすことができました。ポスドクや学生同士も研究室の枠を超えて疑問に思ったことを素直に質問し合い、互いに磨き合う様子が印象的でした。2日目は、生命倫理についてのグループディスカッションで、その後、招待講演者2名の講演、熊本大学の若手研究者の講演が行われました。国際社会の最先端科学にふれ、学ぶことの多かったこの2日間の経験は、今後の研究活動に大いに活かされるものと思われます。



IMEG Culture & Arts 割引クーポン進呈

文化・芸術の秋を楽しみませんか？

本号で案内の「本九祭」の発生研展示企画の会場には、絵はがきコーナー「サイエンス・アート・笑(しょう)」を設けますが、発生研は本物のCulture & Artsとのコラボを目指し、その第一弾として、発生研展示企画にご来場の方(両日とも先着100名様)に、県内の文化施設(市立博物館、市立動植物園、監物台樹木園、県立美術館、熊本城など)の団体割引クーポンを進呈します。さらに提携施設の拡大と提携内容の拡充を交渉中です。次号IMEG NEWS LETTERにご期待下さい。

編集後記

発生研の本九祭参加も4回目となりました。毎年、どんな企画にしようかと頭をひねります。今回のテーマは「幹細胞」。昨年末に話題となった「iPS細胞」も絡めて、展示だけでなく、講演会、サイエンス・カフェと様々な形で展開します。

今年の本九祭はちょっと違うぞというところをお見せいたします。是非、遊びに来てください。

次号予告

発生研の新体制

平成22年度大学院入試説明会・見学会開催のお知らせ

IMEG REPORTS

Kumamoto University

徒40名が、一昨年に続き再度発生研を訪問しました。こちらは初期発生分野の永渕昭良教授の講義を聴いたあと、6人ずつに分かれて5研究室を見学しました。短い時間でしたが、とても密度の濃い実験の体験ができたようです。

今後もこのような高校生の体験事業を行うことによって、科学の楽しさや研究の意義を伝え、将来を担う優秀な人材の理系への確保につなげたいと考えています。



細胞識別分野 山口 泰華



IMEG NEWS LETTER

2008秋号
2008 Oct Vol.08

発行／熊本大学発生医学研究センター E-mail:imeg@kumamoto-u.ac.jp URL: http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/



生命のメカニズムを探り、若き研究者を育てる

IMEG

Institute of Molecular Embryology and Genetics

NEWS LETTER

熊本大学発生医学研究センター[IMEG]



CONTENTS

1 ZOOM UP IMEG

大学院入試説明会・見学会開催

2.3 INFORMATION 「本九祭」2008 発生研共同企画

テーマは『幹細胞』

展示企画／講演会／サイエンス・カフェ

VIVA! IMEG 第1回発生研スポーツ大会

研究室からコートへ!

バスをつないで心もつなぐ
「発生研学生会」発足

4 IMEG REPORTS

- 高校生の研究室訪問
- GCOE-発生研共催サマーリトリート2008

IMEG, Culture & Arts

文化・芸術の秋を楽しみませんか？

編集後記
次号予告



http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/

IMEG

Kumamoto University



ZOOM UP IMEG

大学院入試説明会・見学会開催

平成21年度入学のための大学院入試説明会・見学会を5月24日(土)に開催しました。学内外、県内外からの30名を越える参加者は、入試説明会での大学院や入試についての説明、各分野の研究内容や現役院生からの熱いメッセージに熱心に耳を傾けていました。また、説明会後の見学会も遅くまで続きました。

説明会参加者の中から、発生研の各分野志望の合格者がすでに10名を越えています。これは、例年を大きく上回る数字で、「幹細胞」など再生医療への期待が大きく膨らんでいることや、発生研を中心とする教育研究拠点グローバルCOEプログラム「細胞系譜制御研究の国際的人材育成ユニット」などの活動が研究者をめざす若者の関心を惹きつけていることを窺わせます。

平成21年度入学のための入試受験のチャンスはまだ残されています。あなたも世界と渡り合う研究を発生研でやってみませんか？





INFORMATION

医学部学園祭「本九祭」2008 発生研共同企画

テーマは『幹細胞』

今年は「幹細胞」をテーマに例年の展示企画に加え、
講演会とサイエンス・カフェも開催!!



再生医療への一歩:ES・iPS・幹細胞ってな～に?

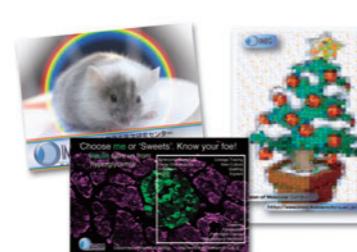
11月1日(土)・2日(日)

11:00～17:00

発生医学研究センター1階カンファレンス室



ヒトES細胞



男女共同参画相談デスクも併設 (研究に興味のある女子中高生集まれ!)



VIVA! IMEG

研究室からコートへ!

バスをつないで心もつなぐ

学生プロデュースイベント開催

第1回 発生研スポーツ大会

6月20日に「第1回発生研スポーツ大会」としてソフトバレー大会・懇親会を開催しました。当日は悪天候にもかかわらず、教職員、ポスドク、学生など非常に多くの方々に参加いただきました。



Comments 参加者のコメント

スポーツ大会の会場体育館に入つてみると、迎えてくれたのは主催した学生の笑顔でした。誰でも参加できる交流イベントというのが良いですね。他の教室の学生、研究補助員の方とともに盛り上りました。
(組織制御分野 立石 智)

学生が企画する交流イベントでは学生のみならず、多くの先生方も参加されています。これまででは挨拶を交わす程度でしたが、いろいろな人の意外な一面を知ることができ、また多くの人と交流を深めることができました。
(細胞複製分野 鬼武 彰宣)

年齢や役職、研究室を超えて様々な方と親しくなることができました。以前は同じ建物の中にいてもすれ違うだけだった方と、お互い笑顔で挨拶を交わし会話するようになったのは、少し不思議な気分ですが(笑)、とても嬉しいです♪。発生研の方は皆さんとても温かく楽しい方ばかりだと改めて実感しました☆。
(臓器形成分野 中原 舞)

「発生研学生会」発足

イベント続々企画中!

今年度、発生研内の研究室間の交流を深めるイベントを企画する「発生研学生会」が発足しました。交流の第一歩として6月に「第1回発生研スポーツ大会・懇親会」、8月に「納涼スイカパーティー」を開催。さらに10月にはBBQパーティーも計画しております。今後も公私ともに充実した発生研ライフを送ってもらえるように、楽しいイベントを多数行っていく予定です。

